

7/12 母不

一石三鳥の食材提供

余剰品 どもも食堂へ

県民生協（竹生正人理事長）とコープ北陸事業連合が今月から、宅配事業で発生した余剰食材を、福井市内でボランティアが運営する「ひまわりどもも食堂」に提供する取り組みを始めた。生協側は食品廃棄ロスの削減と社会貢献になり、ボランティア側も定期的に無料で食材を手でできる一石三鳥の取り組みだ。（中田誠司）

廃棄ロス削減

社会貢献

無料で入手

食材の仕入れでは、メーカー側が欠品対策として多めに出荷する場合が多く、使われなかった食材の活用は難しかった。県民生協はこうした余剰食材のうち、食パンや牛乳、豆腐、もやしなど約三十人分を毎月二回、ひまわりどもも食堂に

提供する。食材は、坂井市丸岡町小黒にある県民生協の物流センター「エルシーコープ」で、どもも食堂のスタッフに提供。初回の十一日は、ミズナやジャガイモ、牛乳、バナナなど九品を手渡した。どもも食堂では十二

県民生協とコープ北陸 ▶



ミズナやバナナなどの食材をひまわりどもも食堂のスタッフに手渡すエルシーコープの担当者。11日、坂井市のエルシーコープ丸岡物流センターで

日のメニューで利用者に味わってもらおうことにしている。

どもも食堂は、地域の子どもも大人も安心して一緒に食事をしたり、過ごしたりできる場所として運営されている。県民生協の担当者「廃棄にもコストがかかる上、食べられるものを捨てるのはもったいない。提供は社会貢献にもなる」と話し、提供先の拡大にも前向き。ひまわりどもも食堂代表の白崎順也さん（画）は「各地でのどもも食堂への支援が広がる大きなきっかけになる」と感謝した。

ひまわりどもも食堂は、基本的に毎月二回、第二水曜日に福井市灯明寺町の明新公民館、第四土曜日に同市光陽二丁目の県社会福祉センターで開設。料金は十八歳以下百円、大人は三百円。前日までに予約が必要だが、みんなで食事をするのが楽しいと思う人なら誰でも参加できる。◎白崎さん（平日は午後五時以降）

090(9442)65